

【電子版】



2024年 第22号 2024年7月12日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel. 03-3875-8071

fax. 03-3874-4997

メール [info@jikosoren.jp](mailto:info@jikosoren.jp)

ホームページ→



# ライドシェアは断じて許さない

**7・10 RS解禁阻止行動 SE協会・デジタル庁前で宣伝**

自交総連は7月10日、「7・10 RS解禁阻止行動」を実施しました。

今回は、公に対してライドシェアの利便性だけを広め、その裏の危険性をひた隠しにして全面解禁を主張し

ている推進派へ抗議の意を表明するために集まりました。

午前10時から、シェアリングエコノミー協会前（ザ・パークレックス平河町）で街頭演説を行いました。

庭和田裕之中央執行委員長が口火を切り、協会の代表理事である石山アンジュ氏が危険性を伏せてライドシェアはとにかく便利であるから導入すべきと報道番組でアピールしていると批判。続く徳永昌司副中央執行委員長は、シェアリングエコノミーは貧困ビジネスの温床になっており、ライドシェアも含めて社会問題と化していると強調しました。



デジタル庁へ向かってシュプレヒコールする仲間たち

## 政治は公共交通を守ることに目を向けろ

続く11時からのデジタル庁前（ガーデンテラス紀尾井町）での宣伝行動には約70人が集結し、横断幕を何枚も掲げ、通行人にビラ入りポケットティッシュを配布しながら、「ライドシェア解禁を推進するな」と宣伝カーから河野太郎デジタル大臣へ訴えました。



2024. 07. 10 東京・ガーデンテラス紀尾井町前

- ◎ 庭和田裕之中央執行委員長 「コロナ危機によって一部発生したタクシー不足を補うためにはライドシェアだ」と強硬に主張しているのが、河野太郎デジタル大臣たちです。タクシー業界が弱ったのであれば、白タクではなく公共交通を守ることに政治は目を向けるべきです。自交総連は、どのような形態であってもライドシェアは駄目だ、と強調し、断じてライドシェアは許さないという反対の声を今後も上げていきたいと思います。
- ◎ 内田大亮常任執行委員 白タクは再規制されており、「ライドシェアは危ない」ということを世界が立証しています。なのになぜ今、日本に入れようとしているのか——河野太郎デジタル大臣に強く抗議します。ライドシェアに対する渡航の注意喚起をしたのは当時外務大臣だった河野氏自身であるにもかかわらず、デジタル大臣になったらライドシェアを導入しようとするなど大いなる矛盾です。私たちはライドシェアを阻止するまでたたかい続けます。
- ◎ 富松達也常任執行委員 ライドシェア全面解禁を推進する河野太郎デジタル大臣、小泉進次郎衆議院議員、そして黒岩祐治神奈川県知事、彼らはみな神奈川県出身です。神奈川県三浦市で実証実験されている「かなライド」はほとんど乗車する人がいません。しかも今、神奈川県全域でタクシー乗務員は非常に増えており、タクシーが足りないという話はすでに終わったことだと言えます。ライドシェアなんてものを入れる必要はありません。
- ◎ 徳永昌司副中央執行委員長 河野太郎デジタル大臣へ「ライドシェアは必要ない」という声を皆さんと共に届けたいと思います。ライドシェア解禁なんてものを誰が望んでいるのか。日本のIT産業企業がビジネスチャンスとして狙っているだけです。彼らは明確な根拠も示さずタクシーが足りないと声高に叫んで白タク導入を進めています。河野大臣には国民とタクシー乗務員の怒りの声を真摯に受け止めていただきたいと思います。